
イラナイモノ、キエナイモノ。

音無 無音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イラナイモノ、キエナイモノ。

【Nコード】

N5488T

【作者名】

音無 無音

【あらすじ】

はじめがつけられない、弱虫のお話。

いらない、いらない。
捨てよう、捨てよう。
いらないなら、捨てる。
当たり前でしょう？名残惜しい。

邪魔、邪魔。

なくそう、なくそう。
目の前にある邪魔。
消しましょう。消えません。

どうして、なんで。
消えません、消えません。
僕の目の前にいる君。
痛いよ、痛い。

心が、心は。
僕の心はどこにあるの？
痛い、痛い。
君がいるせいで痛いよ。

僕は握る。
ナイフを握る。
僕は突き刺す。
君にナイフを。

君は笑う。
ナイフを見てなお。

君に突き刺さる。
僕のナイフが。

「どうして、おかしいよ、泣きなよ、喚きなよ、叫びなよ」
君は何も言わない。
何も、言えない。
何もできない。

喋る事も、
笑うことも、
何もかも。
息さえも。

君は。
言った。
云った。
行った。
謂った。
要った。

逝った。

僕は本当に君を殺したかった？
違う。

君はいらなかった？
違う。

君は消えた？
違う？

君は僕。僕は君。

イラナイモノ、キエナイモノ。
ケシタイモノ、ケセナイモノ。

僕^{きみ}が殺したのは、僕のイラナイモノ。
君^{ぼく}が殺したのは、君のケシタイモノ。

消えましたか？
なくなりましたか？
中途半端な君の弱虫。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5488t/>

イラナイモノ、キエナイモノ。

2011年10月3日11時18分発行